

じょうえつ

市議会 だより

2021 No.209

2月号

がけはし



目次

特集	定例会以外での活動を紹介します！	・・・	2
12月定例会	令和2年度一般会計補正予算など42議案を審議 総括質疑 新型コロナウイルス感染症対策 に関する議案等を審議	・・・	4
	常任委員会の審査	・・・	5
	討論・意見書・請願	・・・	9
	審議結果・賛否一覧	・・・	10
	ここが聞きたい！一般質問	・・・	11
	11月の議会報告会・意見交換会を実施	・・・	19
	3月定例会の日程予定と本会議傍聴の感想	・・・	20

無料アプリ  **マチイロ**
で議会だより配信中！

この無料アプリをダウンロードして登録すると、議会だより発行日にお知らせが届き、いつでもどこでもスマートフォンやタブレットなどで議会だよりを読むことができます。ぜひご利用ください。



←アプリのDLはコチラから

※アプリのダウンロードや利用は無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

活動を紹介します！

定例会以外でも所管事務調査を実施しています！

所管事務調査とは、市が行う事業や市が策定する重要な計画などについて、常任委員会が自主的に取り上げ、調査するものです。今回は、定例会で開催される委員会以外で実施された所管事務調査の中で、調査が完了したものをご紹介します。

※当日の中継等をご覧いただく際のデータ通信料はご自身の負担となりますので、ご注意ください。

令和2年7月2日 新上越斎場建設事業について (厚生常任委員会)

今後の斎場施設における将来の方向性を示した「新上越斎場建設事業整備方針」が平成30年12月にまとめられましたが、これを再精査し、施設の機能や規模、整備運営に係る事業方式、概算事業費など、より具体的な事項を示した「新上越斎場建設事業基本構想(案)」について調査を行いました。

問／設計と施工が一括発注となるDB方式では、設計士が市の意向だけでなく、施工業者の意向を反映する形になってしまう可能性が考えられる。設計と施工を別に発注する方式のほうが市民の立場に立った施設にできるのではないか。

答／一番重要なのは炉を長期に維持することであり、かなり難しい技術が必要とされる炉の工事においては、施工業者の技術が生かされるDB方式が最善の方式と考えた。また、工期の短縮やコストの削減も期待できる。

当日の資料↓



当日の中継↓



現在の上越斎場

令和2年11月9日 空き家等対策計画の改定について (農政建設常任委員会)

市では平成28年11月に「上越市空き家等対策計画」を策定し、取組を進めてきましたが、令和2年度末までの計画期間終了後も引き続き対策を実施するため同計画を改定するとしています。これを受け、これまでの取組の検証を踏まえ、改定案について調査を行いました。

問／空き家の予防に関し、居住中から将来的な住宅の処分に備えていただくためには、所有者等への普及啓発の強化や生家への移住の促進は大事な点である。どういった方法を考えているのか。

答／所有者等への啓発として、セミナーの開催や広報誌への掲載を考えている。また、生家を活用する際の補助制度も含めて周知していきたい。

当日の資料↓



当日の中継↓



特集

定例会以外での

第15回マニフェスト大賞[※] 優秀マニフェスト推進賞受賞！

このたび、当市議会の「議会改革推進会議における女性フォーラム、模擬議会、議会モニターの取組」が第15回マニフェスト大賞の「優秀マニフェスト推進賞〈議会部門〉」を受賞しました。

審査員からは、3つの取組それぞれに成果はあるが、特に女性フォーラムやこれまで地道に実施してきた取組が女性議員の増加につながってきたものであるとご講評いただきました。

上越市議会では、今後も継続的に議会改革に取り組んでいきます。



議会改革推進会議の座長の小林議員がオンラインで実施された授賞式に参加

※マニフェスト大賞とは

地方自治体の議会や首長、市民等の優れた活動を募集し、表彰することで、地方創生を推進する方々に荣誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取組が広く知られ互いに競うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を拓げるために設けられたものです。

取組内容の詳細は、

「上越市 議会改革推進会議」で検索いただくか、右のQRコードからご覧ください。



議員勉強会

「ITの過去・現在・未来」

～地方自治体・地方観光経営におけるIT活用の可能性を探る～

上越市議会では、議会としての政策立案及び政策提言能力の向上、そして議員としての能力向上を図るため、定期的に研修を実施しています。研修に当たっては、広く各分野の専門家を招き、知識や知見を取り入れた研修会を実施しています。

令和2年11月には、妙高市出身で㈱テラスカイ 代表取締役社長の佐藤秀哉氏を講師に招き、人口減少やコロナ禍という課題に対して、IT技術を活用し、どう対処していくのかを学びました。



IT業界の最新的话题をお聞きました

次は、総括質疑、総務常任委員会の審査

新型コロナウイルス感染症対策に関する議案等を審議

12月定例会は11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開催されました。

令和2年度一般会計補正予算をはじめとする、市長から提案された議案を全て可決しました。また、議員発議により「拉致事件の早期解決を求める意見書」、「『防災・減災、国土強靱化対策』の継続的な推進を求める意見書」を可決しました。(議案と審議結果は、10ページをご覧ください。)



総括質疑

総括質疑は、市長が提出した議案に対して案件の概要と疑問点を解明するために行われます。今定例会では、輝、日本共産党議員団、会派に属さない議員(宮越議員)が総括質疑を行いました。

PCR検査の費用助成
対象の設定は？

※関連記事6ページ

☀️ 新型コロナウイルス感染症対策として、介護保険施設及び障害者福祉施設に新たに入所する人や、通所サービス等の利用者のうち、県外在住者等との接触により感染のおそれがある人に対し、PCR検査費用を助成する補正予算が提案されました。

問／今回のPCR検査の助成対象をどのように設定したのか聞きたい。



答／感染が広がると影響が極めて大きくなる介護保険施設、障害者福祉施設の利用者のうち、ウイルスを持ち込むリスクがある「新たに入所する人」、「通所サービス等利用者」のうち、県外在住者等との接触により感染のおそれのある人に設定した。

助成対象者	①：介護保険施設及び障害者福祉施設に新たに入所する人 ②：介護保険及び障害福祉サービスの通所サービス等利用者のうち、県外在住者との接触により感染のおそれがある人
検査方法	医療機関が実施するPCR検査
助成期間	令和2年12月1日～令和3年3月15日
助成回数	①の人：期間内で1回 ②の人：回数制限なし
助成額	①の人：検査費用全額22,000円 ②の人：検査費用の一部20,000円 (自己負担額2,000円)

旧今井染物屋
開館時間の検討は？

※関連記事5ページ

☀️ 旧今井染物屋を令和3年4月1日から地域文化の継承及び発信の拠点施設として供用開始するため、条例案が提案されました。

問／地域協議会への諮問に対する答申と異なる内容で条例案が提出されているが、答申をどう受け止め、生かしたのか。

答／関係事業者の人員などを考慮した運営体制や周辺施設の入館者数、高田駅周辺地区の観光客の動向を踏まえつつ、諮問の趣旨である「住民生活に及ぼす直接的な影響」は特段ないと整理されていたことを勘案し、改めて諮問のとおりの開館時間等が適当と判断し、条例案を提案した。



カレンダー

- ▼11月30日(本会議・委員会)
 - ・市長提案説明、総括質疑(3人)
 - ・先行議決議案の3常任委員会、採決
- ▼12月1日～4日(委員会)
 - ・4常任委員会
- ▼12月7日～10日(本会議)
 - ・一般質問(24人)
- ▼12月14日(本会議・委員会)
 - ・委員長報告、討論(3人)、採決
 - ・追加議案の市長提案説明、追加議案の総括質疑(1人)、2常任委員会、追加議案の委員長報告、採決

総務

市政の運営方針や、財務、防災、総合事務所に
関することなど、広範な議案等を審査しています。

注目!

公の施設の適正配置
市民の理解と納得を

■所管事務調査（第4次上越市公の施設の
適正配置計画の策定について）

第4次上越市公の施設の適正配置計画

持続可能な行財政運営の確立と現役世代及び次の
世代が過度の負担を負うことなく安心して暮らすことが
できるまちづくりに向け、令和3年度から令和12年度に
おける公の施設の適正配置のための計画を策定しま
す。
小中学校や保育園等、別の計画で定める施設以外の
323施設（令和3年4月1日見込み）について、施設ご
との具体的な取組方向を提示します。

問／市民の理解と納得を
得ることが最も大事であ
ると考え、時間をかけて
説得しなければならぬ。
最初から施設の廃止あり
きではなく、最終的に廃
止となったという考え方
が進む必要があると思
うかどうか。

答／適正配置計画の検討
手順に沿った中で方向性
を出し、関係者と協議を
行ってきた。これで終わ
りではなく、今後も協議
していきたい。お互いが
納得し、最終的な目標に
向かって歩み寄った中で、
適正配置を進めていく。

■上越市旧今井染物屋条例の制定について

旧今井染物屋
10時開館の理由は？

※関連記事4ページ

現在耐震改修工事を進めている市の文化財「旧今井染物
屋」について、令和3年4月1日から地域文化の継承及び発
信の拠点施設として供用開始するため、条例を制定します。

問／開館時間を10時とした理由は何か。

答／市の文化財としていた旧今井染物屋をどう活用して
いくか考え、バテンレースをマッチングさせることにし
た。実演及び展示を依頼する事業者と協議してきた中
で、10時であれば対応できるとの内諾を得た。また、高
田駅周辺の観光客は
10時頃から動き出す
ことが分かったため、
10時の開館が最も適
当であると判断した。

採決に当たり、総務
常任委員会の総意と
して、第一に「条例
施行に当たり、開館
時間等柔軟な対応を
すること」、「第二に「一
定期間運用の上、改
めて検討すること」を
行政側に伝えました。



旧今井染物屋のチャノマ

■令和2年度一般会計補正
予算（第7号）

市役所の代表電話
混雑状態の改善は？

市役所木田庁舎の電話
交換機の更新及び内線電話
機の無線化工事について、
令和2年度から3年度まで
の債務負担行為を設定しま
す。

※1つの事業が単年度で終わら
ず、後の年度にも支出が必要な
場合に、後の年度の債務につい
て予算で決めておくこと。

問／電話交換機の更新に
伴いダイヤルインを導入
することのことであるが、
市の代表電話への混雑状
態はどう改善されるのか。
答／各部署の係単位の専
用番号へ直接電話をかけ
てもらふことで、代表電
話番号に余裕を持たせる
ことを目指している。

厚生

健康づくりや多種の福祉施策、環境保全など市民に身近な議案等を審査しています。

注目!

PCR検査費用助成施設利用者だけの理由は?

令和2年度上越市一般会計補正予算(第6号)

※関連記事4ページ



PCR検査に対する補助については、利用者または職員に感染者が発生しているか否かにかかわらず、必要な場合に県が補助を行っている。

PCR検査費用の助成

介護保険施設及び障害者福祉施設に新たに入所される方や、通所サービス等を利用される方のうち、県外在住者等との接触により感染のおそれがある方を対象に、PCR検査に係る費用を助成します。

問/ ウイルスを持ち込む可能性はスタッフが一番高いと思われるが、検査対象を施設利用者のみとしているのはなぜか。どう判断したのか。

答/ 医療崩壊が起こらないようにしたいという中で、今回は高齢者、障害者の検査を優先した。また、施設職員のPCR検査に対する補助については、利用者または職員に感染者が発生しているか否かにかかわらず、必要な場合に県が補助を行っている。

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

臨時特別給付金 漏れなく周知を

新型コロナウイルス対策として、国が予備費を活用し、ひとり親家庭等に対して、生活を支援する観点から臨時特別給付金を再支給するため、必要経費を増額します。

問/ 新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変した人について、周知が重要となるが、漏れなく把握できているか。 答/ 児童扶養手当の認定となった方へ個別に通知しているほか、広報上越やホームページでも周知に努めている。また、いろいろな窓口で案内する中で対応していきたいと考えている。

令和2年度一般会計補正予算(第7号)

子宮頸がんの予防 どう進めるのか

予防接種の接種者が当初の見込みを上回ることから、予防接種個別委託料を増額します。

問/ 子宮頸がん予防ワクチンの接種は全国的に進んでいない状況であるが、市はどう進めていくのか。 答/ 国は積極的な勧奨を行わないという方針であり、市も同様に考えている。国の検討会でも議論されているので、情報収集をしながら、積極的勧奨を行うことになったら、改めて市民に知らせたい。

上越市児童遊園条例の一部改正について

児童遊園の設置根拠 改める理由は?

柿崎区の妙蓮寺児童遊園及び三ツ屋浜袖畑児童遊園について、施設の利用実態を踏まえた供用廃止と、児童遊園の公の施設としての設置根拠を改めます。

問/ 設置根拠から児童福祉法第35条を削除する理由は何か。 答/ 児童福祉法による設置基準では、児童の遊びを指導する者を置かなければならないと示されている。一方、市では遊びを指導する者を置いておらず、法の要件を満たしていないため改める。



農政建設

農林水産業に関する経済施策や道路の建設・管理、ガス・上下水道事業などインフラ整備に関する議案等を審査しています。

注目!

農業現場におけるスマート農業機械の導入・活用目標は？

■所管事務調査（上越市食料・農業・農村基本計画の見直しについて）

上越市食料・農業・農村基本計画

本計画は、次世代へつなぐ魅力ある農業の再生を目指して、食料・農業・農村振興施策の総合的かつ計画的な推進を図る目的で策定されました。



議会でもドローンによる農薬散布を視察しました

問／計画で、基本施策の「農業現場のデジタル化・スマート農業の実践による省力化・生産コスト低減の推進」において、「スマート農業機械導入・活用する経営体の割合」の目標値を令和12年度に100%としているが、どのように考えたのか。
答／スマート農機や農薬散布におけるドローンなど、全ての農地で何らかの形で導入されると考えたものである。



雪中貯蔵施設完成イメージ図

問／安塚区樽田地内の雪中貯蔵施設が3シーズン空いて供用開始となる。多くの方に利用していただくための取組をどのように考えているか。
答／新たに観光対応型にして整備した雪室であり、広く声がけをして有効活用を図っていききたい。

新しい雪中貯蔵施設
更新の計画は？

■上越市安塚地域産業振興施設条例の一部改正について

これまでの保証人と
連絡人の違いは？

■上越市営住宅条例の一部改正について

💡住居の確保に苦慮されている低所得者が、保証人の確保に不安を感じることもなく公営住宅に入居できるよう、公営住宅の入居に關し、保証人が不要となり、新たに連絡人が必要となります。

問／保証人と新たに設定する連絡人に求められる役割の違いは何か。

答／保証人は、家賃保証をするのに対し、連絡人は、入居者と連絡が取れない時などに連絡をお願いするものであり、入居者の債務を保証する部分の外れる。なお、滞納があるときは納付の働きかけを連絡人にお願し、収納率は維持していきたい。

文教経

商業、観光業などに関する経済施策や、小中学校に関する議案等を審査しています。

注目!

学校施設における改修や統廃合の方向性は

■所管事務調査（上越市学校施設長寿命化計画の策定について）



問／本計画が国の採択を受けた後、施設の改修や統廃合が議論されると思うが、今後の方向性はどうか。
答／実施計画は、今後10年間の各施設の必要な改修工事を把握することから始めていき、各学校の建築時期を見ながら必要な改修をリストアップする。そこに統廃合や児童減少、国庫補助の状況などを勘案し、当初予算の中で示していく流れとなる。

上越市学校施設長寿命化計画

学校施設の総合的かつ計画的な管理により、教育環境の維持・向上やコストの縮減・平準化を図り、適切な維持管理を行いながら、長寿命化を推進します。

■上越市使用料の徴収に関する条例の一部改正について

テニスコート照明設備 供用廃止の反応は？

問／大潟町中学校屋外テニスコートの照明設備の供用廃止について、利用者からはどのような反応があったのか。
答／定期的に利用していた2つの団体には令和元年度の夏から伝えてきた。その中で、テニスをする環境を確保するため、大潟町中学校の体育館にテニスコートラインを整備したことや、照明設備の維持管理に年間100万円の経費がかかることなどを説明し、廃止もやむなしとの返事をいただいた。今後も引き続き、必要に応じて話し合いの場を設けていきたい。



大潟町中学校屋外テニスコートの照明設備は、令和3年4月1日に供用廃止

■所管事務調査（産業観光交流部が所管する第三セクター等の経営健全化の推進について）

第三セクターの 今後の方向性は？

問／第三セクターを廃止する場合は、事前に説明があるのか。
答／民営化する場合は相手方もあるので慎重に進めていかなければいけないが、時期を捉えて説明していきたいと考えている。

■上越市露店市場管理条例の一部改正について

観桜会などの移動露店 出店手数料の根拠は？

問／高田城址公園観桜会や上越まつり、謙信公祭などの移動露店の出店手数料を日額300円以内とした根拠は何か。
答／手数料の内訳は、電気・水道工事費や人件費のほか、電気・水道費等のランニングコストである。平成25年度には、市と出店者の負担が50%ずつであったが、昨年度は市の負担が70%となっており、今回、50%ずつになるようにしたものである。





定例会最終日の12月14日に議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論が、11月30日と12月14日に議案の採決が行われました。

市長提出議案に対する討論

― 反対の立場で ―

〈日本共産党議員団〉

介護保険事務処理システムの改修について、その前提である介護保険制度の改正では、地域支援事業として介護予防・日常生活支援総合事業を行う被保険者の対象を拡大し、要支援の人だけでなく要介護の人も総合事業の対象としている。サービスを総合事業に留めることを可能にし、要介護者の保険給付外にもなりかねない重大な改正を前提としていることから、介護保険事務処理システム改修に係る議案2件に反対する。



次は、審議結果・賛否一覽、こゝが聞きたい！一般質問

意見書を可決

意見書は、国会または関係行政庁に対し、議会のお意思を表明するものです。

■拉致事件の早期解決を求める意見書

長い海岸線を有する本市にとって、北朝鮮による拉致事件の発生は、住民の安全・安心な生活を送る権利を侵す重大な脅威である。拉致被害者自身やその家族が高齢化している状況を鑑み、事件解決には一刻の猶予もないことから、北朝鮮による拉致被害者及び特定失踪者全員の早期帰国及び真相の究明に向け、国際情勢を踏まえ、時機を逸することなく、全力で取り組むことを強く要望する。

■「防災・減災、国土強靱化対策」の継続的な推進を求める意見書

激甚化・頻発化する自然災害に対応するための防災・減災対策や、インフラ施設の老朽化対策を重点的かつ継続的に実施できるよう、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の終了後も引き続き必要な予算を確保するとともに、地方財政措置の拡充などによる更なる負担軽減を図るなど、防災・減災、国土強靱化対策の充実・強化を推進するよう強く要望する。

全会一致で可決し、議会の意思として国会・関係行政庁に提出しました。
詳細は、右のQRコードから該当ページをご覧ください。



請願を不採択

■公の施設の再配置について、市民の納得を得る説明努力を尽くすことを求める請願

請願は、市民等が議会に対し、意見や要望を直接伝えるものです。今定例会では、1件の請願が提出されました。採決の前に、みらいが反対討論を、市民クラブが賛成討論を行い、賛成少数で不採択となりました。

詳細は、下記QRコードから該当ページをご覧ください。



審議結果一覧

◎は全会一致、○は賛成多数、×は不採択

議案等番号	件名	審議結果	議案等番号	件名	審議結果	
予算	118 令和2年度上越市一般会計補正予算(第6号)	◎	条例	139 上越市児童遊園条例の一部改正について	◎	
	119 〃 一般会計補正予算(第7号)	○		140 上越市安塚地域産業振興施設条例の一部改正について	◎	
	120 〃 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎		141 上越市農村地区多目的集会所条例の一部改正について	◎	
	121 〃 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	◎		142 上越市営住宅条例の一部改正について	◎	
	122 〃 診療所特別会計補正予算(第3号)	◎		143 上越市公共下水道事業受益者負担金及び分担金徴収条例の一部改正について	◎	
	123 〃 介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎		144 上越市下水道条例の一部改正について	◎	
	124 〃 介護保険特別会計補正予算(第4号)	○		145 上越市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	◎	
	125 〃 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎		146 上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	◎	
	126 〃 病院事業会計補正予算(第3号)	◎		147 上越市使用料の徴収に関する条例の一部改正について	◎	
	127 〃 下水道事業会計補正予算(第2号)	◎		148 上越市体育施設条例の一部改正について	◎	
	128 〃 下水道事業会計補正予算(第3号)	◎		149 上越市露店市場管理条例の一部改正について	◎	
	129 〃 ガス事業会計補正予算(第1号)	◎		150 上越市田舎屋条例の廃止について	◎	
	130 〃 水道事業会計補正予算(第1号)	◎		その他	151 市道路線の廃止について	◎
	131 〃 工業用水道事業会計補正予算(第1号)	◎			152 市道路線の認定について	◎
条例	132 上越市旧今井染物屋条例の制定について	◎	153 工事施行協定の締結について		◎	
	133 旧師団長官舎条例の全部改正について	◎	予算	154 令和2年度上越市一般会計補正予算(第8号)	◎	
	134 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	◎	請願	6 公の施設の再配置について、市民の納得を得る説明努力を尽くすことを求める請願	×	
	135 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎	諮問	11~15 人権擁護委員候補者の推薦について	◎	
	136 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	◎	発議	9 拉致事件の早期解決を求める意見書の提出について	◎	
	137 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎		10 「防災・減災、国土強靱化対策」の継続的な推進を求める意見書の提出について	◎	
	138 上越市斎場条例の一部改正について	◎				

議員の賛否一覧

賛否が分かれるなどした表の網掛けの議案の賛否等を公表します。

議案等番号	議決結果	合計		みらい					輝					創風					日本共産党議員団		市民クラブ		公明党		会派に属さない議員												
		賛成	反対	ストラットン恵美子	高橋浩輔	高山ゆう子	中土井かおる	宮川大樹	本山正人	石田裕一	波多野一夫	鈴木めぐみ	橋本洋一	田中聡	小林和孝	滝沢一成	栗田英明	小山ようこ	宮崎朋子	池田尚江	大島洋一	江口修一	武藤正信	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	牧田正樹	こんどう彰治	山田忠晴	杉田勝典	安田佳世	宮越馨	丸山章	渡邊隆	飯塚義隆		
119	可決	28	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
124	可決	28	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願6	否決	6	25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は賛成、●は反対。なお、議長(飯塚義隆)は採決には加わらない。

ここが聞きたい!

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。今定例会では24人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



人口減少問題と財政運営の見通しは
江口 修一 (創風)

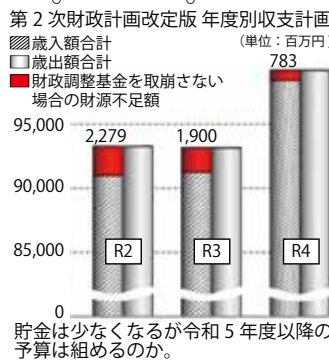


問／合計特殊出生率の向上や東京一極集中の回避等に関する取組の成果を聞きたい。

答／子育て環境の向上に注力した結果、18歳以上対象のアンケートで子育てがしやすいと感じる市民の割合が向上した一方、人口減少に歯止めをかけることの難しさを感じている。

問／令和5年度以降の財政計画はどうか。

答／財政は厳しい。今は令和3年度予算をしっかりと組みたい。



デジタル担当部署とローカル5G環境整備を

問／デジタル担当部署を設置する考えはないか。

答／外部の有識者等による検討会を設置し、「デジタル化に関する統一の方針」を策定する。デジタル化に関する専門人材の確保や育成を図る。

問／ローカル5Gの環境整備に積極的に取り組み、IT関連企業の誘致にも活用してはどうか。

答／ローカル5Gは、首都圏のIT企業等の誘致において強力なツールと認識しており、国や県、企業、関係機関と連携し取り組んでいく。



※通信事業者以外の様々な主体が自ら5Gシステム構築を可能とするもの



公の施設の減収補てん状況と今後の見通しは
橋本 洋一 (輝)



問／新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、指定管理施設の財務状況がひっ迫していると思われるが、上越市と指定管理者との協定に基づく減収補てんの状況はどうか。今後も継続して補てんしていくのか。

答／指定管理者の減収補てんについては、公の施設を安定的かつ継続的に運営していくため、令和2年4月から当面1年間補てんすることにしているものである。令和2年9月までの上半期までの補てん総額は、52施設、9,890万8,000円となっている。また、令和2年10月から12月までの第3四半期では、40施設に対し、5,191万7,000円の補てんを見込んでいるところであり、令和3年1月から3月までの第4四半期では、令和2年度全体の収支見込みに基づく補てんを行った後に、5月末までの出納整理期間において精算することにしていく。コロナ禍における厳しい状況を踏まえ、引き続き指定管理者に対して、経営の安定化に向けた減収補てんや各種助成金の活用、経費削減の取組を要請していく。いまだコロナ禍の終息に目途が立たない状況下において、令和3年度以降の減収補てんについては、新型コロナウイルス感染症の動向をはじめ、各指定管理施設の運営状況を考慮し、指定管理者との協議を踏まえ、市としての方向性を検討していきたい。

**水族博物館における
鯨類死亡の検証結果は**
渡邊 隆（無所属）




問／水族博物館における鯨類（イルカ）4頭死亡の検証結果を11月にまとめるとしたがどうか。

答／専門家による鯨類飼育環境検証委員会で調査しているが、以前の施設における飼育状況の情報も必要となり、調査に時間を要している。令和3年2月中に結果を示したいと考えている。

問／検証に時間を要す中、イルカの死亡前と環境に変化はないが、現有の個体に影響はないか。

答／2頭のイルカに健康上の問題は生じていない。獣医師やトレーナーが細心の注意を払っている。

問／当館は、マゼランペンギンの飼育頭数が日本一である。展示方法に個性が必要ではないか。

答／当館を代表する展示である。磨きをかける。

日本スキー発祥の地「金谷山」の在り方は

問／「市民憩いの公園」、「日本スキー発祥の地」である金谷山について、次世代につなげていく活用のため、「BMXコース」を核とする多目的レジャー施設へ転換してはどうか。

答／公園として現在の環境を守り、適切に維持管理することが基本と考えているが、関係者の意見も聞きながら、トレンドや将来を見据えた議論をしていきたい。



**米価下落で中小規模農
家への影響は**
武藤 正信（創風）




問／JA全農が提示する新潟県の米の概算金が900円減額となった。中小規模農家にとっての影響をどのように感じているか。

答／経営規模にかかわらず、影響を受け、営農意欲の減退につながるのではと危惧している。「需要に応じた多様な米生産」と「園芸導入による複合経営への転換」による生産者の所得確保を図りつつ、いわゆるナラシ対策や収入保険など米価の下落リスクに備えたセーフティネットに関する情報提供や加入促進も積極的に行う。

問／当市における園芸作物導入の現状はどうか。

答／5年前との比較で、作付面積は1・5倍の105ha、園芸を導入した法人数は1・2倍の72法人となり、取組が着実に広がってきている。

柿崎病院の経営問題に進展は

問／県が県立柿崎病院の市での経営を求めたが、市は既に市立病院もあの中で経営はできないと断ったと聞いている。その後の進展はどうか。

答／県の提案に対し、上越地域医療センター病院ほか9つの診療所の運営や厚生連病院に対する財政負担などの実情を挙げ、柿崎病院について「市が経営主体になることは財政負担や医師確保の面からも困難である」との考えを示した。令和2年10月23日に担当部長が県病院局に赴き、引き続き県の運営体制維持存続を要望した。

**行政デジタル化推進の
担当部署や押印廃止は**
杉田 勝典（公明党）




問／デジタル化や押印廃止にどう取り組むのか。

答／今後、「デジタル化に関する統一の方針」の策定過程で必要な組織体制の強化を図る。また、押印に代わる手法の確保も課題である。来年度から廃止に必要な例規改正を順次行う。

コロナ禍における企業の事業承継の実態は

問／市内企業の現状や事業承継の実態と課題は。

答／製造業の一部で回復が見られるが、全体的に売上げが戻らず厳しい状況である。経済悪化に即応できる態勢を取りたい。懸念の廃業増加に対し、効果的な承継支援制度を研究したい。

歳入の減少による新年度予算規模は

問／歳入減が見込まれる中、新年度予算規模は。

答／新年度予算ではコロナ禍からの脱出と「新たな日常」への移行に対応した政策を推進する。現段階での収支不足は19億を上回る可能性が高いが、財政調整基金の取崩しを極力抑制したい。

法人格を持った「協同労働」の認識は

問／「協同労働」について市はどう考えるか。

答／介護や子育て等多様な需要に応じた働き方の実現や就業機会を創出し、持続可能な活力ある地域社会の実現が期待できる。今後、国から示される詳細を確認し、周知を図りたい。

*働く人自らが出資や経営をも担う労働形態



**上越市の観光マイナード
を上げていこう！**
ストラットン恵美子（みらい）



問／上越市観光交流ビジョンに基づくアクシヨンプログラムの進捗状況と今後の進め方は。

答／コロナ禍で予定どおりにはならなかったが、ビジョンの趣旨と実践の普及に取り組んでいく。

問／小木直江津航路へのジェットフォイル導入の方向性を踏まえた観光施策の転換はあるのか。

答／小木直江津航路を利用してもらうために、春の大型連休や夏休み期間にえちごトキめき鉄道のリゾート列車「雪月花」、高田城址公園のハスと結びつけるなど、関係機関や周辺市と連携した旅行コースなど業者への営業を展開する。

問／市ホームページやSNSなど、閲覧数や検索解析などをどのように分析しているか。

答／「上越観光Navi」が一番多く見られたページは春日山城跡で、伸び率が高かったページはキャンプ場であった。インスタグラムのフォロワーの多くが市内居住者の傾向がある。


小・中学校における英語教育の活性化策を

問／英検などの受験料の一部を助成する制度を創設してはどうか。


答／日常の英語授業の充実が肝要であり、制度創設は考えていない。

問／中学生と小学5・6年生を対象とした英語スピーチコンテストを開催してはどうか。

答／学校教育の現場では実施が極めて難しい。

**コロナ禍の財政健全化・
財源確保の見通しは**
石田 裕一（みらい）



問／新型コロナウイルス感染症の影響による来年度の税収の減少見込みはどうか。減収分の自主財源の確保及び財政健全化にどう取り組むか。

答／個人市民税、法人市民税は大幅な減少を見込む。今後積算の精度を高め、令和3年度の歳入予算に計上する。市内経済の動向を注視しつつ、行政改革推進計画に基づく取組を推進する。

問／温浴施設等の公共施設を運営する指定管理者への減収補てんは、令和3年度以降も継続するのか。

答／感染症の動向と指定管理施設の運営状況を考慮し、指定管理者と協議の上、方向性を検討する。

問／新年度予算では、収支バランスが一層崩れると予想されるが、行財政改革及び収支均衡を図るための取組はどうか。

答／第4次公の施設の適正配置計画の策定を関係者の理解を得ながら進めるとともに、押印廃止やICTの活用に向けた環境整備に着手した。



問／コロナ禍で中止を決定した事業やイベント等について、事業費の減額補正をしない理由と財源の今後の取扱いについて聞きたい。

答／イベント等の中止により執行残額が見込まれるが、事業者応援給付金などが当初見込みを上回り、中止したイベント等の補助金を流用し対応したため、財源に余裕がある状況ではない。



**金谷山シャランツエ跡地
にモニユメントを**
こんどう 彰治（市民クラブ）



問／当時、東洋一と言われた金谷山シャランツエ跡地に、記憶に残るモニユメントを残せないか。

答／日本スキー発祥記念館に様々な資料があり、設置は考えていない。

都市計画道路及び市道などの整備は

問／都市計画道路「飯寺町線」の未整備区間の整備の見通しについて聞きたい。

答／早期の事業化は極めて難しいと考えている。

問／市道「表寺線」通学路の除雪対応はどうか。

答／車道の拡幅除雪などで対応し、必要に応じ排雪作業で、安全な歩行者空間を確保に努める。

問／市道「西小学校東通線」西側の側溝整備は。

答／東側の外側線を車道側に約30cm移設し、約1.5mの歩行空間を確保する。来年度の「上越市通学路安全対策プログラム」の取組の中で通学路合同点検や検討会議を実施し進めたい。

儀明川 改修を含めた安全対策は

問／台風時等で越水が幾度となく見受けられる。嵩上げ工事をするということだが、いまだ改修されていない。県との協議はどうなっているか。

答／県は、線形の修正をしながら護岸の造り直しを視野に入れた実施設計を進めている。抜本的な治水安全度の向上には、ダム建設が不可欠であり、国・県に早期の本体工事を要望したい。





「地域の宝」認定制度
地域に魅力と活力を！



スクールロイヤー制度
当市の対応は



来年度の学校栄養職員
の配置は？



問 「地域の宝」認定制度が創設され、申請された60件全てが認定された。これまでの取組を通して分かったことや課題は何か。

答 私たちが今まで知り得なかつたものやことが「地域の皆さんの心のよりどころ」として、その地域に大切に受け継がれていること、文化財としての指定・未指定にかかわらずそれらに誇りを持ち様々な活動を展開されていること、主体的に情報発信をされていること、同様の活動を行っている団体との交流を望んでおられること等が分かった。課題としては、地域の宝を地域で守り伝えていくための方策、団体相互の交流やネットワークづくり等が挙げられる。

問 3年間の募集認定期間終了後の各団体との関わりや本制度の見通しをどう考えているか。

答 本制度が地域に根差した実効性のあるものとなるよう検証しつつ、市民と共に育てていきたい。本制度を、地域の皆さんが地域を見直す契機とし、自らの地域への誇りや愛着を育み、文化財の確実な継承と活用を図り、魅力ある地域づくりの一助となるよう努めていく。

問 「義の心」が地域の宝として認定された。人づくりにどのようにいかすのか。

答 目指す心の在りようとして各学校に周知しているが、認定を契機に大事な教育方針の一つとしてより一層大切にしていきたいと考える。

問 スクールロイヤー制度をどのように考えているか。また、市独自に配置する考えはないか。

答 近年、学校だけでは対応や解決が難しく、法的な対応を迫られる事案が増加し、弁護士力を借りた学校支援体制の強化が必要になってきている。スクールロイヤーの市独自の配置については、県制度の活用状況など検証を行い、必要性について調査、研究を進めていく。

★部活動を理由とする「校区外通学」は

問 部活動を理由とする「校区外通学」を認めるべきと考えるがどうか。

答 通学区域に指定された学校に通学することが原則である。部活動を理由とした校区外通学の許可は、特例的な対応であり、一定の制限は必要であると考えている。今後も引き続き、許可要件に照らし合わせ、保護者等と十分に相談した上で校区外通学を判断し対応していく。

★老朽化した体育施設等の改修は

問 上越市総合体育館の改修やリージョンプラザ上越のトイレ設備を自動水栓化する考えは。

答 総合体育館は、大規模な改修工事を実施すべく、実施設計業務を行っている。リージョンプラザは、国の第三次補正予算の動きなどを見ながら、優先順位を付けて改修を検討していく。

問 市雇用の学校栄養職員が昨年度に比べて削減されている。兼務校が増えることによる影響や来年度以降の職員配置をどう考えるのか。

答 市の学校栄養職員は食育や食物アレルギー対応の一部を担っているが、本来は、法律の規定により県が配置している栄養教諭が担うことが望ましい。来年度以降の配置は調理業務委託への移行及び業務の履行状況を踏まえ判断する。

問 今年度から、4校担当の栄養教諭が7人と増えた。県の基準で「原則、兼務校2校まで」としており、現場からは4校勤務はきついという声を聞いている。来年度の配置は、現場の声をよく聞いて対応してほしい。

答 県採用の栄養教諭と市の学校栄養職員では、資格や配置目的・役割が異なると考えており、県へ引き続き栄養教諭の増員を要望していく。

公の施設の適正配置計画 住民の納得は？

問 公の施設の適正配置を進める上で、地域住民の納得という観点で市の取組はどうか。

答 取組の必要性等を理解いただけるよう説明を尽くしており、今後も合意形成を図っていく。

問 地域協議会が行おうとしたアンケートが中止になった例もある。もつと市民の声を聞き、まちづくりの中で適正配置を考えるべきだ。

答 地域の実情や住民の思いに寄り添い進める。



ママやパパが笑顔で
子育てできる社会に！
中土井 かおる（みらい）



問 保護者が心身ともに健康で前向きに育児に向き合える環境が、コロナ禍においてより一層必要と考える。育児サポート事業の充実を図るため「子育て支援サービス利用券」の配布制度を導入し、遠慮せずに育児支援サービスが利用できる仕組みづくりを提案する。

答 当市では様々な育児サービスがあり、出生手続時などにサービスを紹介しているため、利用促進を目的とした子育て利用券配布は考えていない。



「ご存じですか？」「成年後見制度」

問 認知症等により判断能力が不十分な方の財産管理の代行や権利擁護を行う成年後見制度の利用状況はどうか。

答 管内の平成29年の新規申立て受付件数は93件、令和元年は121件と年々増加傾向にある。

問 今後、更に成年後見制度の需要が高まり、人材不足が想定されるが、市の考えはどうか。

答 市では、判断能力が不十分であるにもかかわらず必要な支援を受けられない人の発見及び早期の段階から適切な相談対応を図ること等を目的に、令和3年度から弁護士や司法書士などの専門職団体、社会福祉協議会等が意見交換する連携会議を設置予定である。同会議の中で成年後見人の担い手確保についても協議を進める。



コロナ禍における農業
への影響は
宮崎 朋子（創風）



問 コロナ禍で水稲への影響はあったか。また、上越産品に特化したインターネットショッピングモールを活用した支援策の進捗状況はどうか。

答 全国的に民間在庫量が前年より大幅に増加し、米の仮渡金が抑制されている。令和3年度も、交付金の活用等も視野に入れ、生産者を支援していく。上越産品に特化した支援策では、計画の2倍の39件の出店申込があった。全国的に認知されたこともあり、キャンペーン開始からの販売額は前年比で約6倍となり好調だった。

災害に強いまちづくりの推進と課題

問 日中、高齢者しかいない地域も多い。災害時に地元企業との連携が必要ではないか。

答 当市と災害時応援協定を結ぶ事業所は多いが、地域と事業所との連携は少なく、今後どのような関係構築ができるのか研究していく。

問 人口減少に伴い自主防災活動に不安を抱く市民もいる。活動への啓発に対する市の考えは。

答 市内全世帯の98・5%が自主防災組織に加入しており、防災士会と協力しながら活動支援に取り組んでいる。

問 個人の裏山等の土砂崩れへの対応は。

答 地盤の亀裂や地下水の濁り等の土砂災害の兆候には速やかに現地確認し、県等の関係機関と連携しながら対応する。



市民目線に立った行政
改革の推進を！
田中 聡（輝）



問 行政改革の推進について、具体的なメッセージの発信を強化していく考えはないか。また、多様な世代とビジョンを共に考え、共有していく取組をどのように考えているか聞きたい。

答 市民それぞれの立場や考え、理解に温度差が生じていることも事実であり、こうしたことの要因として、市の説明する体制が必ずしも一貫していなかったことなど、反省すべき点もあると認識している。市民の皆さんから理解を得るために、行政改革の必要性を繰り返し訴えていくとともに、市の考え方を組織一丸となつて説明し、多様な意見や思いにも寄り添いながら、理解と納得を得られるよう進めていく。

コロナ禍における子育て支援の取組は

問 コロナ禍において、外出や行動の制限を余儀なくされる乳幼児を持つ保護者の悩み相談への対応について聞きたい。また、入場制限がかかっている子どもセンターのほかに、市の施設を活用し、子育てをする親と子どもが安心して遊べる環境を増やすことはできないか。

答 子どもセンター利用者にアンケートを実施し、希望の多かった「オンラインおしゃべりひろば」と「オンライン子育て相談窓口」を令和2年10月から開設した。子どもたちが安心して遊べる場の紹介についても意を用いていく。



加温式消雪パイプの新設にもっと地元の声



問／具体的にどんな条件を満たせば消雪パイプが敷設されるのか。ある所とそうでない所の差は何なのか。住民は切実に考えているし、市に歩み寄ろうとしている。

答／公共事業は地元の同意、協力、熟度を確認し、必要性や実現性、費用対効果を点数化し優先順位を付けて進める。長く待っている皆さんがいることは承知しているが、なぜ必要なのか、地元はどう協力できるか、もっと行政に伝えてほしい。地元の協力度が上がると事業は進む。

問／教科書に書いてあるような答えをしてほしくない。地元は長い間必要性を訴えてきた。熟度は十分あるし、どんな協力もする。行政側から調査に行くのが筋ではないか。「波及効果はあるか」と地元の皆さんに言ったと聞いているが、敷設済みの所は波及効果があったのか。壁をどんどん高くしているように見える。地元は市の考えを理解し、理屈で応えようと歩み寄っている。もっと耳を傾けてほしい。

答／加温式消雪パイプは、設置費、維持管理コストが高価で凍結していたが、検証を経て、優先順位を決めた上で計画的に造っていくことになった。財政計画との折り合いもあるが、再開後の最初のものが施工される。その状況を検証しながら、要望のある地域の声を聴き整備を進めていく、その緒についたと理解してほしい。



当市における脱炭素社会への取組は



問／上越市第6次総合計画の環境分野に地球温暖化対策の推進が掲げられている。温室効果ガス排出量の目標値の算定方法と現在の状況、目標値達成に向けた今後の取組について聞きたい。

答／当市では、平成28年3月に地球温暖化対策実行計画を策定し、令和4年度までを計画期間として、市民・事業者・市が行う温室効果ガス削減に向けた具体的な取組を示し、市域全体から排出される温室効果ガスの削減を推進している。温室効果ガス排出量は、製造業や農林水産業部門、家庭部門など9つの活動部門において、電気やガス、石油などエネルギー種別ごとの58項目を、各種統計データ等を用いて算定している。平成29年度からの3年間で17万7千t・CO₂を削減してきたこと、令和元年度時点の年間排出量が223万6千t・CO₂となることから、令和4年度までに222万4千t・CO₂以下とする短期目標は達成可能と考える。

問／今後、電気自動車の普及が加速すると思われる。市役所駐車場スペースに電気自動車の充電設備を導入する考えはないか。

答／市内において既に商業施設やコンビニエンスストア等36か所で充電設備が設置されており、市役所周辺1kmの範囲内では、民間事業者により6か所の充電設備が設置されているため、市役所駐車場への設置は考えていない。



感染症から命と暮らし・生業を守る支援策



問／小規模事業者の中には、年末を控えて事業継続への大きな不安と諦め感が広がっている。市独自の新たな支援策を講じるとともに、国に対して持続化給付金の再支給等を求めている。

答／市では現在、事業者応援給付金やプレミアム付商品券の発行支援、チャレンジ応援事業などの支援を実施し、国・県の支援制度も継続されているため、市として現時点で直ちに新たな支援策創設や持続化給付金の再支給を国に求めることは考えていない。今後状況が悪化する場合に必要な施策ができるよう準備を整えていく。


ひとり親家庭への更なる支援策を

問／感染症の更なる拡大により、ひとり親家庭、特に就業実態が不安定な平均年収約103万円程度という母子家庭はさらに深刻な状況である。年末やクリスマスなどを少しでも暖かく過ごせるよう、年末給付金の支給やお米や餅などを届けるなど暖かい施策を行う考えはないか。

答／国は12月に生活実態が依然として厳しいひとり親家庭等に対し、臨時特別給付金を再支給する方針を示した。これを受け、市では補正予算を追加提案し、年内に支給できるように速やかに事務を進める。また、新潟県フードバンク連絡協議会では、食料品等をひとり親家庭に送る取組を行っており、市も広く周知していく。

安全、確実な広域最終処分場の建設に向けて

高山 ゆづ子(みらい)



問／当市が次期処分場候補地になった経緯は。

答／過去に茶屋ヶ原・吉浦地内、宮野尾地区が候補に挙がったが、地元の理解が得られず断念に至った。経済活動の支えや災害対応としても重要な施設であり、県では、引き続き市内での候補地選定を行うこととした。

問／県は整備候補地を地元の土地所有者等に一般公募したが、応募はあったのか。

答／2件の応募があった。

問／エコパーク出雲崎は元々畜産団地だった場所であるが



海拔50mと比較的高い土地にある。今回の建設

条件に地震や津波災害等の検討はしているのか。

答／選定条件の中に立地回避区域として、活断層付近、浸水想定区域等を除外している。

問／受け入れる産業廃棄物は具体的に何になるのか。出雲崎と同じ石膏ボード、瓦礫類なのか。

答／エコパーク出雲崎とほぼ同じ産業廃棄物と聞いている。

問／最終的に決まる候補地の住民が反対した場合はどうか。

答／市としては、住民の合意なしに進めるつもりはない。

県は住民の理解が得られるよう、丁寧に説明していくことである。



新たな都市(まち)づくりへの誘導策は

丸山 章(無所属)



問／高田と直江津は今まで多くの政策・施策を講じ、質的向上のまちづくりを推進してきたが、

あまり成果が出ておらず、双方の誘導重点区域は空き家が増え、人口減少が顕著になっている。その原因や課題等を浮き彫りにし、新たなまちづくりへ誘導することが肝要と考えるがどうか。

答／まちなか居住推進事業として高田を「雁木町家」「一般住宅」「高度利用」の各エリアに分け、対象となる25の町内会長へ課題や事業の説明等を行い、5つの町内をモデル候補地とし、実現可能なモデル事業の検討を行っている。直江津も同様の取組を行うための検討に着手した。

問／最終処分場の廃棄物の処理方法や環境面等の対策に関する市の考え方と県への対応は。

廃棄物の広域最終処分場 整備への対応は？

答／廃棄物を安全、安定的に処分する機能を備え、周辺の自然環境や生活環境への影響を最小限にとどめ、地域の理解を得られる施設であるべきと考える。今後も県と協議を重ね、進める。

問／候補地を選定の上、令和3年度以降に県が建設予定地を決定するとしているが、その際、地元住民等の意向への対応策について聞きたい。

答／候補地が絞り込まれた際、県は具体的な情報を示すとの意向であり、市も県に地元住民等への丁寧な説明を求め、協力・支援していく。

公共施設のバリアフリー化を

平良木 哲也(日本共産党議員団)



問／公共施設におけるバリアフリー化を含むユニバーサルデザイン推進の進捗状況はどうか。また、どう評価しているか。

答／対象となる586の公共施設の適合率は令和元年度末で66・1%であり、令和4年度末の目標67・3%の達成に向けて順調と考えている。

問／目標設定は妥当なのか。あればなお良いというような消極的な考えはないか。

答／計画を作った20年前はともかく、時代が大きく変わる中で、障害者などに寄り添った施設の改修をしていく必要がある。目標の見直しを含め、市民が等しく便益を享受できる施設ありようを考えていく必要があると考えている。

問／ユニバーサルデザイン指針に基づく修繕計画はあるのか。統一的に把握できているのか。

答／個々の施設の修繕計画はあるが、ユニバーサルデザインに特化した計画は作っていない。

問／担当部署が全体の進捗状況や今後の課題、見通しを把握し、他の部署への働きかけや促しが必要ではないか。

答／現実的に困っている方にお聞きして優先順位をつけることは当然必要だと考える。担当部署に確認し、仕事の進め方について整理する。

高田城趾公園の多目的トイレ





**小木直江津航路を含め
たこれからの観光は**



安田 佳世（無所属）

問／小木直江津航路の就航船舶の変更等に係る佐渡汽船との協議の状況はどうか。

答／県と佐渡市を含む4者会議にて、当市の提示条件を佐渡汽船が受け入れたため、就航船舶変更とあかね売却交渉の着手に同意した。今後の佐渡汽船への財政支援は、経営改善の取組状況等を確認しながら、支援を検討する。

問／当市における小木直江津航路の必要性をどう考えるのか。観光にどうかしているのか。

答／小木直江津航路は、佐渡市民の生活航路として、また、当市の観光航路として重要である。佐渡金銀山の世界遺産登録や北陸新幹線延伸による利用増加を期待しているが、就航船舶の変更により利用者数の減少も懸念される。今後も佐渡汽船や県、佐渡市などと連携しながら、旅行費用の低廉化や二次交通の利便性向上等を通じて、航路の利用促進を図っていきたい。

乳幼児教育・保育 量の確保と質の向上を

問／子どもたちの乳幼児教育や保育を担う場が多様化している。園の形態や公立・私立にかかわらず、十分な提供体制を確保していくために、量の確保と質の向上にどう取り組むのか。

答／今後の需給バランスや保護者ニーズに対応していく必要があるが、定員数の在り方等も含め総合的に検討し、適切な体制づくりを行う。



**温室効果ガス
実質的排出量をゼロに**



鈴木 めぐみ（輝）

問／国は2050年までに国内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすると表明したが、市の方針や具体的なアクションプランはあるのか。

答／平成28年3月に上越市地球温暖化対策実行計画を策定し、再生可能エネルギーの利用促進や公共施設の省エネルギー化等に取り組んでいる。令和4年度に策定する次期計画の中で、方針や支援策を含めた具体的な施策等を示していく。

市内温浴施設にピンクリボン温泉の普及を

問／市が所有する温浴施設において、ピンクリボン温泉の普及促進が必要と考えるがどうか。

答／乳がんの手術後も病気になる前と同じように温泉を楽しめる社会環境を整えることは、心身の癒しはもとより、乳がんに対する理解の促進につながる大切な取組の一つと理解する。施設の指定管理者と協議の上、検討を進めていく。

若者や子ども向けの屋外スポット整備を

問／市内の公園に3^{スリ}オン3^{スリ}やボルダリングなど屋外で気軽に遊べる環境を整備する必要があると考えるがどうか。

答／高田城址公園等の基本計画にそのような整備方針はなく、遊戯施設の更新に当たり、地域

からもそのような要望はないため、現段階で整備を行う考えはない。



**極限社会を乗り越える
には攻めの市政を！**



宮越 馨（無所属）

問／人口減少対策には「子ども年金制度」の導入が有効と考えるが、具体的な対策はどうか。

答／様々な少子化対策を切れ目なく講じ、転出超過の解消に資する総合的な取組が必要と認識している。政策を総動員して取り組む。

問／「介護・認知症地獄」が待ち受ける極限社会をどう乗り越えるのか。対応策は万全なのか。

答／小規模多機能居宅介護の充実を図り、介護人材の確保や介護予防・介護の重度化の防止への取組を進め、総合的な認知症施策に取り組む。

問／空き校舎を農都市学校や田園住宅にしては。

答／他への転用を検討し、サウンディング調査等により民間主導の活用方法も模索していく。

問／地籍の未確定地が多い。地籍調査の促進は。

答／未実施の地域全ての実施は難しいため、必要性、緊急性の高いエリアから取り組む。

問／税源涵養策のためのふるさと納税活用は。

答／当市はもらう額より出ていく額が多いが、本来の趣旨に沿わない返礼品制度は行わない。

問／都市計画は相当な年数が経過しており、ニーズに合う抜本的な見直しをすべきではないか。

答／過去に一部を見直ししており、今後も適宜見直し、持続可能な都市構造の構築を進めていく。

問／コロナ禍におけるPCR検査体制の拡充は。

答／県の検査体制が拡充されており、市は今回の補正予算の内容を超える支援は考えていない。



柿崎病院は県営で運営
すべきと強く主張を
橋爪 法二(日本共産党議員団)



問／令和2年10月23日、市の担当部長が県の病院局へ出向き、柿崎病院について要望したというが、その内容及び県の回答はどうであったか。

答／柿崎病院について、市が経営主体になることは財政負担や医師確保の面からも困難であり、引き続き県による運営体制を維持存続するよう求めた。県からは、「県と市の役割分担がある。上越市の負担については理解している」とのことだった。

問／県は提案を取り下げしていない。新型コロナウイルス感染症が流行している中、病院の経営主体をどうするかより、感染症対策を優先すべきだ。県に先送りすべきと言うべきではないか。

答／病院の位置付けではなく、経営のあり方である。病院の位置付けであれば、今すべきではないし、そのとおりである。経営の在り方である。先送りをすべきと言うのではなく、いつ持つて来られる話ではない。

ある。病院の位置付けであれば、今すべきではないし、そのとおりである。経営の在り方である。先送りをすべきと言うのではなく、いつ持つて来られる話ではない。



11月の議会報告会・意見交換会を実施しました！

市議会では、令和2年11月6日～11日にかけて清里区、直江津、吉川区、三和区の計4か所で、議会報告会・意見交換会を実施しました。

前半はプロジェクターを使って議会の取組や定例会中の委員会審査の内容を説明し、後半は市民との意見交換会を行いました。

意見交換の中でいただいた47項目のご意見のうち、一部をご紹介します。



- マイナンバーカードはなぜ浸透していないのか。市民が制度を活用できるよう、議会としても市に対して働きかけてほしい。
- 県立柿崎病院の統廃合問題では、他市に比べ、市長や市議の動きが鈍い。命を守ることは何よりも大事なことであり、また、へき地病院については赤字なのは当たり前で経済原理を導入するというのは間違いだと思うが、どのような認識か。
- 清里区でもクマによる人身被害が発生した。県もクマ出没特別警報を発令し注意喚起を図っている。市としても効果的な対策をお願いしたい。
- 公の施設の再配置について、利用実績だけで存廃を判断すると、地域差が出るのではないかと。施設には避難所など他に大切な場所としての役割がある。議会では、市からどのように聞いているのか。
- 子どもの通学路について、L字側溝の上を歩いていたり、傘を差した時に外側線からはみ出たりと、危険である。特に冬期は、積雪により歩くスペースが狭く危険なので、点検をしっかりとってほしい。
- 一般質問で取り上げる題材について、専門分野や得意分野で質問をしている議員が多いが、もっと市民の声を聞いて地域に関することを質問するべきではないか。地域の課題はたくさんあるので、一般質問でも取り上げてほしい。
- 議員、地域協議会委員、町内会が連携することが大事である。今後とも互いに協力をお願いしたい。

その他いただいたご意見や上記ご意見を含め、当日の回答等は全て市議会ホームページに掲載しています。ホームページは、「上越市議会 意見交換会」で検索いただくか、右のQRコードからご覧ください。



本会議や委員会の傍聴にお越しく下さい!

◆傍聴に来られた方の感想◆

- ・質問は市民の想いを届けており、夢が持てた。
- ・質問は市民の実際の声を伝えたものだった。
- ・時間があればずっと聞いていたかった。
- ・新人議員の質問が身近な事項であり、傍聴に来てよかった。
- ・傍聴しやすい雰囲気、時間があればこれからも時々来てみたい。
- ・議員からは行政の対応を尋ねる質問が多いのは当然だが、将来の市の発展のための対策について、提案もしてほしい。

3月定例会の日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27
					本会議 総括質疑等	
2/28	3/1	2	3	4	5	6
	本会議 総括質疑等	文教経済 常任委員会		厚生 常任委員会		
7	8	9	10	11	12	13
	農政建設 常任委員会		総務 常任委員会			
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 一般質問					
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 採決等					

※この日程は、諸会議等により変更となる場合があります。正式には2月下旬に改めて決定し、市議会ホームページ等でご案内します。(市議会ホームページの見方は下記のとおりです。)



本会議や各委員会をインターネットでご覧いただけます!!

- ◆本会議の議会生中継及び録画中継は、ホームページの「本会議の放送」より、各委員会の生放送と録画放送は、ホームページの「委員会の放送」よりご覧ください。

※市議会ホームページは、「上越市議会」で検索いただくか、左下のQRコードをスマートフォン等で読み取ることでご覧いただけます。

広報広聴委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◎田中 聡 ○宮越 馨 安田 佳世
 鈴木めぐみ トラウト恵美子 高橋 浩輔
 宮崎 朋子 山田 忠晴 牧田 正樹
 池田 尚江 平良木哲也 飯塚 義隆

次号は、令和3年4月25日発行です。

議会だより「かけはし」のロゴは、平成26年に上越総合技術高校の生徒に依頼し、制作しました。今号の作品は、桜を散りばめた「かけはし」の文字にアーチ(橋)を架けた作品です。アーチは、次の世代へと吹き抜ける新しい風を表現しています。

編集後記

2021年がスタートして、早1か月が経ちました。去年はコロナウイルス感染症に振り回された1年だったなあと感じています。今年はどうなるのでしょうか。上越市議会では、市民の皆様が安心・安全な生活が送れるよう努めてまいります。

広報広聴委員会 委員 鈴木めぐみ

